

諫早市勉強会実施報告書

開催場所：諫早市役所本館 5 階 大会議室

開催日時：2020 年 10 月 20 日 13:30～16:30

参加者：34 名（諫早市職員 8 名、市内地域包括支援センター 6 名、社会福祉協議会 2 名
不動産関連事業者 9 名、長崎県職員 2 名、居住支援法人職員 4 名
オブザーバーとして市浦ハウジング&プランニング 3 名）

■勉強会内容

- ・住宅セーフティネット制度の理解を深める
- ・住宅確保要配慮者と不動産物件のマッチングケース紹介
- ・各関連団体の業務及び活動内容の理解と問題点の共有

■勉強会の目的・目標

目的：制度の理解を深めつつ、実際のケース紹介を通して、各関連団体それぞれが抱える問題を居住支援活動との連携により解決の糸口を見出す。

目標：居住支援活動の実際の状況及び各関連団体の活動や問題点などの情報共有を図る

■勉強会の結果

実際のマッチングケース以外の問題点を紹介することにより、居住支援活動についての理解が深まるとともに、各関連団体の抱える問題ケースと居住支援活動とが連携することの意義をご理解いただける意見が多数見られ、今後の諫早市内における居住支援活動との連携による様々な住まいの問題解決に繋げていくことが可能となった。

■勉強会の問題点・改善点

問題点：各関連団体における様々な問題において、まず住まいを考えてみるという視点がまだまだ少なく、居住支援活動のさらなる啓発活動が必要であるため、今後も勉強会の継続が必要。

改善点：参加人数が多いために、それぞれの発言時間が十分に確保できなかったため、今後は分野をしぼり参加人数を限定し、それぞれの発言がしっかり行える体制の整備が必要である。